

## 系統 系統別殺菌剤の分類(参考資料) ※FRACコードは、主に該当するコードです。

### 銅剤 M1

- ・広範囲の病害に効果を示します。
- ・耐性菌の出現しにくい剤です。
- ・銅剤は「無機銅と有機銅」があります。
- ・主に予防剤です。  
Zボルドー水和剤・ドイツボルドーA・  
ヨネポン水和剤

### 有機塩素系剤 M5

- ・広範囲の病害に効果を示します。
- ・登録作物も非常に多くあります。
- ・混合剤が多いので「含む総使用回数」に注意が必要  
です。  
ダコニール1000・プロポーズ顆粒水和剤(混合剤)  
アミスターオプティフロブル(混合剤)

### ベンゾイミダゾール系剤 1

- ・広範囲の病害に効果を示します。
- ・登録作物も非常に多くあります。
- ・耐性菌の発生地域では効果が期待できません。  
トップジンM水和剤・ベンレート水和剤

### ジカルボキシリミド系剤 2

- ・特に「灰色かび病・菌核病等」に効果が  
高い剤です。
- ・浸透移行性が高く耐雨性に優れます。
- ・予防～治療的に使用できます。
- ・耐性菌の発生地域では効果が期待できません。

### 無機殺菌系剤 NC

- ・主に「うどんこ病」に使われます。
- ・JASが定める「有機農産物生産」に使用可能  
です。  
(農薬散布回数に「カウント」されません。)
- ・治療(治病)効果があります。  
ジーファイン水和剤・カリグリーン・  
ハーモメイト水溶剤

### 合成抗殺菌剤系 31

- ・細菌性病害に効果があります。
- ・抗生物質と違い、予防的に使用できます。
- ・耐性菌に対し有効です。  
スターナ水和剤

### 微生物農薬 44

- ・野菜類での登録があります。
- ・JASが定める「有機農産物生産」に使用可能  
です。  
(農薬散布回数に「カウント」されません。)
- ・糸状菌ですが、病原菌(ボトリチス等)とは  
違います。  
ボトキラー水和剤・マスタピース水和剤  
エコショット

### 有機硫黄系剤 M3

- ・広範囲の病害に効果を示します。
- ・主に予防剤です。
- ・銅剤の近接散布(7日以上あける)は薬害の  
恐れがあります。  
ジマンダイセン・アントラコール・キヒゲンR-2

### QO1系剤 11

- ・広範囲の病害に効果を示します。
- ・浸透移行性に優れます。
- ・予防、治療効果があります。
- ・耐性菌出現回避の為に、ローテーション  
散布をおすすめします。
- ・浸透性の展着剤を使用しますと「薬害」を  
助長します。  
ストロビーフロブル・アミスター20フロアブル  
メジャーフロアブル

### DMI系剤 4

- ・主にうどんこ病に使用されます。
- ・予防～治療的に使用できます。
- ・浸透移行性が高く耐雨性に優れます。  
テーク水和剤(混合剤)・サプロール乳剤  
サプロール乳剤 パンチョTF顆粒(混合剤)

### 抗生物質系剤 24.25.41

- ・剤の性質上「残効」は期待できません。
- ・バクテリア系の病害に対し高い効果  
があります。
- ・性質上、紫外線分解を受けやすく、  
残効は期待できません。
- ・主に、治療的に使用します。  
アグリマイシン・アグレプト・カスミンボルドー(混合剤)

### その他

- ・シアノイミダゾール 21 → ランマンフロアブル
- ・ポリオキシシン 19 → ポリオキシシンAL
- ・カルボン酸アミド 40 → フェスティバル
- ・メタラキシル 4 → リドミル
- ・トラフェンピラド 39 → ハチハチ
- ・抵抗性誘導剤 P → オリゼメート
- ・ホセチル 33 → アリエッティ水和剤
- ・AH殺菌剤 14 → リゾレックス
- ・AP殺菌剤 9 → フルピカ

\*作物登録内容を再度ご確認ください。  
\*分類・商品名等は、一部抜粋です。  
ご承知おきください。